

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

2022年度
事業計画・収支予算書



公益財団法人 ベネッセこども基金

2022年度 事業計画書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2021年度は、中期計画の初年度の年。民間財団としての中間支援的な立ち位置であるベネッセこども基金の強みが生きるように、助成事業をより進化させ、新しい自主事業にトライアルする年。

また、活動内容の発信による広報の強化は引き続き行う。
と計画していた。

新型コロナウイルス感染症の第4,5,6波に対応しながら、一部活動方法を修正しながら計画を遂行。ベネッセこども基金らしい広報の方向性が見えた。

I : 2022年度の重点テーマ

1. 【助成事業】次フェーズ助成事業プランの設計

- 3年間実施した「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成」プランの総括に加え、コロナ禍、休眠預金活用制度などが団体の事業に与える影響を考慮に入れ、課題を抱える子どもにふさわしい助成プランを検討

2. 【自主事業】重い病気の理解者、支援者を増やす活動

- ① ニューメディア開発協会との共同事業による実践の積み上げにより、重い病気の子どもの支援者を広げレベルアップをはかる。
- ② 重い病気の子どもたちを支える学生ボランティアのスキルアップや定着をはかるための学生組織サポート

Ⅱ：重点テーマの概要

1. 【助成事業】次フェーズ助成事業プランの設計

①「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動」助成の採択は、以下の要領で再設計を行う。

◆総括とリサーチ：4月中

- ・【経済】複数年助成の総括 & 団体ヒアリング(成果／単年度助成との比較)
- ・【全体】他助成財団の市場リサーチとベネッセこども基金のポジショニング再定義

◆方向性案決定：5月

◆応募要項、申請書案作成、審査ステップなど決定：8月～11月

◆最終決裁：11月理事会

②「重い病気を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠1,000万円）の採択は、①のリサーチを受けて応募要項は微修正する。

③「被災した子どもの学びや育ちの支援活動」助成（予算枠1,000万円）は変更なし。

2019年度より、緊急支援に特化した災害支援助成を継続。

年度開始時点での募集要項の公開／サイトで予め発信。

災害発生時に、助成の実行を判断し要項に沿って公募。

2. 【自主事業】重い病気の理解者、支援者を増やす活動

①ニューメディア開発協会と共同で以下を実現し、その成果を助成団体にFBするだけでなく、社会全体に発信する。

重点実行項目① モバイルWifi活用、アバターロボットでの子どもサポートの長期継続への意識が高いモデル拠点校候補選定

重点実行項目② 「モデル拠点校」を目指し継続的な成功事例創出、並びにそのプロセスでのノウハウの取得を目指す

重点実行項目③ 「現場で使える成功事例モデル」を全国に情報発信し、継続的な「病気療養の子どもの笑顔獲得」を目指す

重点実行項目④ メタバースを利用した学びの支援モデルテスト

- ・ベネッセこども基金として、事業の有効性をさらに高める関わりを実施する（他の助成団体への共有、実施報告会の実施など）

② 重い病気の子どもたちを支える学生ボランティアのスキルアップや定着をは

かるための学生組織サポートを行い、理解者支援者を増やす。

・昭和大学大学院保健医療学研究科准教授 同大学付属病院内学級担当 副島賢和先生が発起人

・学生代表 Your School 吉田さん

・その他旭川短期大学、秋田大学など7大学などが参加予定。

・年度内は実態調査が主体。内容を公表し、理解者や支援者を引き出すだけでなく、いずれ学生主体の活動となれるようにオブサーブする。

Ⅲ：その他のテーマ

重点テーマ以外の実行項目について、概要をまとめる。

【安心安全】

・SNS など新ツールでの広報へのトライアル

「防犯・スマホ」

「紙芝居」

防災紙芝居の園以外へのアプローチ

・図書館への防災紙芝居寄贈・SNS での発信

「ネットコンテンツの見直しに向けての調査活動」

・一人一台タブレット化による環境変化対応

・低年齢化：未就学児や小学校低学年とその保護者向けの検討

【経済】

① 昨年度完成した学びの質の向上 [NPO 法人キッズドア] との開発教材の普及、受注基盤の確立、検証、成果発信

② 事業評価研究会 PJ

昨年度より開始した助成団体向けの研究会の継続実施。

【よりよい社会づくりにつながる学び支援】

広くすべての子どもたちを対象に「“ソーシャルリーダーシップ”を育む学び」の機会を提供。新テーマ1, 継続テーマ1 を実行する。

① 新テーマ：DID との協業「多様性×謎解き×対話イベント『地図を持たないワタシ』」の実施

② 高校生英語ディベート大会・国際事業の共同実施

対象：高校生

連携：全国高校生英語ディベート連盟 (HEnDA)・国際委員会

【広報・渉外】

・前年度のより定番化した、子どもをめぐる社会課題とその解決策の発信の場である MeetUp の引き続きの実行

・助成団体との支援につながる企業連携スタート

IV. 会議体スケジュール（予定）

	日時	主な議案
第1回理事会	5月25日(水) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業報告・決算 ・評議員会の開催
第1回評議員会	6月16日(木) 10:00~10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業報告・決算
第2回理事会	6月16日(木) 10:30~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・「重い病気」助成募集要項 ・代表理事活動報告
第3回理事会	11月4日(金) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・「重い病気」助成団体承認 ・「経済」助成募集要項 ・代表理事活動報告
第4回理事会	3月6日(水) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画/予算 ・「経済」助成団体承認 ・代表理事活動報告

VI. 予算

2022年度 公益財団法人ベネッセこども基金					
収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース)					
2022年4月1日から2023年3月31日まで					
(単位:千円)					
科 目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2021年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	145,897	20,000	165,897	157,498	8,399
受取寄付金	5,798	0	5,798	5,730	68
受取寄付金振替額	140,099	20,000	160,099	151,768	8,331
雑収益	2	0	2	2	0
受取利息	2	0	2	2	0
経常収益計	145,899	20,000	165,899	157,500	8,399
(2) 経常費用					
事業費	145,899	0	145,899	137,500	8,399
原稿料	1,483	0	1,483	1,240	243
監修費	225	0	225	370	▲145
法定福利費	4,440	0	4,440	4,340	100
給料手当	25,102	0	25,102	24,540	562
旅費交通費	3,600	0	3,600	510	3,090
通信運搬費	2,769	0	2,769	2,730	39
消耗什器備品費	0	0	0	240	▲240
消耗品費	40	0	40	450	▲410
印刷製本費	3,960	0	3,960	12,470	▲8,510
諸謝金	790	0	790	360	430
支払負担金	10,400	0	10,400	8,740	1,660
支払助成金	75,000	0	75,000	63,780	11,220
委託費	9,880	0	9,880	11,870	▲1,990
普及宣伝費	1,836	0	1,836	1,830	6
渉外費	572	0	572	130	442
制作費	2,510	0	2,510	2,240	270
報酬	2,495	0	2,495	1,430	1,065
会議費	797	0	797	110	687
新聞図書費	0	0	0	100	▲100
雑費	0	0	0	20	▲20
管理費	0	20,622	20,622	20,040	582
報酬	0	800	800	800	0
給料手当	0	6,157	6,157	6,020	137
会議費	0	60	60	10	50
旅費交通費	0	80	80	0	80
通信運搬費	0	370	370	370	0
消耗品費	0	10	10	10	0
新聞図書費	0	120	120	120	0
印刷製本費	0	600	600	590	10
光熱水料費	0	210	210	210	0
賃借料	0	2,050	2,050	1,750	300
保険料	0	5	5	10	▲5
租税公課	0	10	10	10	0
支払負担金	0	50	50	50	0
雑費	0	400	400	470	▲70
法定福利費	0	1,090	1,090	1,070	20
普及宣伝費	0	0	0	10	▲10
渉外費	0	20	20	20	0
支払手数料	0	480	480	420	60
委託費	0	6,300	6,300	6,300	0
制作費	0	1,560	1,560	1,550	10
原稿料	0	250	250	250	0
経常費用計	145,899	20,622	166,521	157,540	8,981
当期経常増減額	0	▲622	▲622	▲40	582
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲622	▲622	▲40	582
当期一般正味財産増減額	0	▲622	▲622	▲40	582
一般正味財産期首残高	6,661	44,404	51,065	51,105	▲40
一般正味財産期末残高	6,661	43,782	50,443	51,065	▲622
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	150,000	0
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	150,000	0
一般正味財産への振替額	▲140,099	▲20,000	▲160,099	▲151,768	8,331
一般正味財産への振替額	▲140,099	▲20,000	▲160,099	▲151,768	8,331
当期指定正味財産増減額	▲10,099	0	▲10,099	▲1,768	8,331
指定正味財産期首残高	336,158	0	336,158	337,926	▲1,768
指定正味財産期末残高	326,059	0	326,059	336,158	▲10,099
III 正味財産期末残高	332,720	43,782	376,502	387,223	▲10,721

Ⅶ. 資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2022年4月1日から2023年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。